

令和元年度国立大学法人運営費交付金の重点支援の評価結果について

1. 第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の重点支援について

第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金（以下「運営費交付金」という。）については、各国立大学の機能強化の方向性に応じた取組をきめ細かく支援するため、予算上、3つの枠組みを設けて重点支援を行うこととし、各国立大学は、それぞれの機能強化の方向性や第3期中期目標期間を通じて特に取り組む内容を踏まえて、いずれかの枠組みを選択しています。

重点支援は、各国立大学から拠出された金額（選択した以下の重点支援の枠組みを踏まえて決定される「機能強化促進係数」に基づく金額を運営費交付金から拠出）を、「国立大学法人の運営費交付金に関する検討会」（以下「検討会」という）の評価に基づき再配分するものです。

【重点支援】

主として、人材育成や地域課題を解決する取組などを通じて地域に貢献する取組とともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界ないし全国的な教育研究を推進する取組等を第3期の機能強化の中核とする国立大学法人を重点的に支援する。

【重点支援】

主として、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で地域というより世界ないし全国的な教育研究を推進する取組等を第3期の機能強化の中核とする国立大学法人を重点的に支援する。

【重点支援】

主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に世界で卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を第3期の機能強化の中核とする国立大学法人を重点的に支援する。

なお、本評価は、運営費交付金の一部を再配分し重点支援を行うことにより、各国立大学法人の強み・特色を踏まえた大学の機能強化を目的とするものであり、中期目標・中期計画の進捗状況を調査・分析する国立大学法人評価とは異なり、国立大学法人の業務全般の評価を行うものではありません。

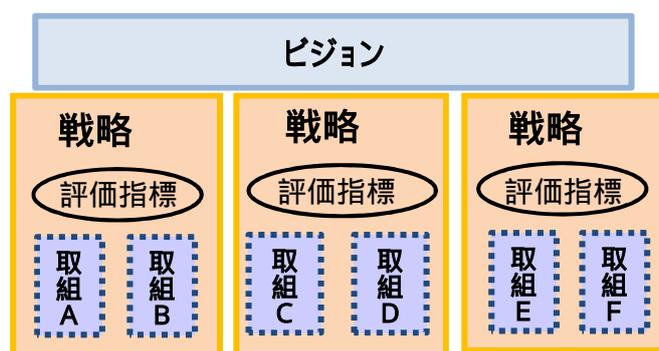
2. 検討会における審議について

今年度の評価に当たっては、国立大学法人に関する知見を有する有識者12名（名簿：別紙1）で構成する検討会を計7回開催・審議を行い、評価を実施しました。

3. 各国立大学法人における構想について

各国立大学法人は、第3期中期目標を踏まえて作成した「ビジョン」に基づき、その実現に向けた具体的な方針である「戦略」を作成し、その達成状況を判断するための「評価指標（KPI）」をそれぞれ主体的に設定し、PDCAサイクルの確立に努めながら自主・自律的な機能強化に向けた取組を実施しています。

【各国立大学法人の提案イメージ】



- ✓ 第3期中期目標を踏まえ、予算上の重点支援の枠組みに応じた「ビジョン」を策定。
- ✓ 「ビジョン」の実現に向けた具体的な改革の方針(教育・研究・社会貢献, 組織再編構想, ガバナンス改革, 人事・給与システム改革等)を「戦略」として構想。
- ✓ 各「戦略」の達成状況を判断するための「評価指標(KPI)」を設定。
- ✓ 各大学が設定した「評価指標(KPI)」の進捗状況等を踏まえた戦略評価を実施。

4. 評価の対象について

評価については、各国立大学法人から提案のあった296の「戦略」を対象として実施しました。

提案の状況	戦略	
	大学数	戦略数
重点支援	55	175
重点支援	15	53
重点支援	16	68
計	86	296

5. 評価の趣旨等について

令和元年度予算における運営費交付金の重点支援に係る評価においては、各国立大学法人が自ら改善・発展するためのPDCAサイクルを一層促進する観点から、国立大学法人が自ら設定した戦略の達成状況を判断するための評価指標(KPI)の進捗状況等を確認しました。

具体的には、「6. 評価項目について」及び「7. 評価項目ごとの評価方法等について」により、指標の精選状況や数値等の進捗状況を確認し、設定された評価指標(KPI)が進捗していない場合(数値の減少や変化が見られない等)については、その原因分析及び今後の対応策が示されているかの確認をするなど、各国立大学法人におけるPDCAサイクルが適切に機能しているかの確認を行いました。

6. 評価項目について

1. 評価指標の精選の確認について

平成30年度時点では全86大学で1,847の評価指標(KPI)が掲げられていたものの、評価指標(KPI)数が多いために、評価指標(KPI)の進捗により判断される戦略の達成状況が分かりにくくなり、結果として評価の観点が拡散していたこと、さらに評価指標(KPI)については、成

果・効果を測ることができるアウトカム指標ばかりではなく数値目標が立てやすいインプット指標が数多く存在している状況でした。

このため、社会への説明責任と国立大学改革の進捗状況を分かりやすく社会に発信するという観点から、評価指標（KPI）の精選等について評価を行いました。

具体的には、昨年度評価からの継続性も踏まえ、次の評価項目の観点による確認を通じて、総合的に評価を行っています。

【評価項目】 評価指標の精選・設定等に関し、適切な対応が行われているか。

具体的には、評価指標の適切性及び目指す水準の妥当性において、以下の3つの観点を満たしているか。

（3つの評価の観点）

- ・評価の焦点化が図られるよう適切に評価指標（KPI）が精選されているか。
- ・事後の客観的な検証が可能な指標となっており、成果・効果を測ることができる指標として設定されているか。
- ・戦略の推進によって目指す成果等の水準について、これまでの実績や実現可能性も踏まえた考え方が適切であるか。なお、その目指すべき目標値等については、社会からの期待を踏まえ、国立大学が目指すべき成果等の水準として適切であるか。

2．評価指標（KPI）の進捗状況の確認について

精選された評価指標（KPI）の進捗状況について、具体的な目標値等以上の実績値等を達成しているかどうかを中心に、設定された評価指標（KPI）ごとに評価を行いました。

【評価項目】 平成29年度の実績値について、

- ・設定された目標に向けて、着実に進捗しているか。
- ・着実に進捗していない場合（数値が減少、変化が見られない場合）、今後の改善に向けた具体的な対応方策が示されているか。

7. 評価項目ごとの評価方法等について

評価項目ごとの評価については、以下に示す観点により確認を行いました。

1. 評価指標の精選の確認について

(1) 各大学が作成した調書等において、3つの評価の観点(p3参照)を満たしているかどうかで判断し、「a 評点」、「b 評点」、「c 評点」、「d 評点」の4段階評価。

(2) 具体的な評点

評点	具体的な評点内容
a 評点	・3つの評価の観点すべてを満たしており、特に目指す成果等の水準について、特筆して高く意欲的な目標と判断できる。
b 評点	・3つの評価の観点すべてを満たしている。
c 評点	・3つの評価の観点いずれか1つの観点を満たしていない。
d 評点	・3つの評価の観点のうち2つ以上の観点を満たしていない。 ・評価の観点いずれかにおいて重大な課題がある。

2. 評価指標(KPI)の進捗状況の確認について

(1) 基準値及び年度ごとの目標値等以上の実績値等を達成しているかどうかを中心に判断し、「a 評点」、「b 評点」、「c 評点」、「d 評点」の4段階評価。

(2) 具体的な評点

評点	具体的な評点内容
a 評点	基準値及び平成29年度の目標値以上の実績値が示されている上で、以下のいずれかを満たしている。 ・基準値、年度ごとの目標値及び最終年度の目標値等に照らし、実績値が著しく進捗している場合。 ・その他、各種政府方針等()を踏まえ、実績値が非常に高い場合。
b 評点	・基準値及び平成29年度の目標値以上の実績値が示されている。
c 評点	・目標値に達していないが、今後の改善に向けた具体的な対応方針が示されている。
d 評点	以下のいずれかに該当している。 ・実績値が目標値に達せず、今後の改善に向けた具体的な対応方針が示されていない。 ・基準値、各年度の目標値や平成28、29年度の実績値が示されていない。 ・平成29年度実績値が基準値を下回っているなど、実績値が非常に低い。 ・評価項目 がd 評点

『地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する法律』に基づき認定された「地域における大学振興・若者雇用創出事業に関する計画」に対する取組状況、「ニッポン一億総活躍プラン」、「第5期科学技術基本計画」等で掲げられた主要指標等

8. 評価結果について

全 86 国立大学法人から提案のあった、296 の戦略の達成状況を判断するための、944 の評価指標（KPI）を対象として、評価項目ごとの評価の観点に基づいて確認を行い、その評価結果について、集計した結果は次のとおりです（各国立大学法人の評価結果一覧：別紙 2）。

評価項目ごとの評点	a 評点	b 評点	c 評点	d 評点	合計
評価項目 「評価指標の精選」	6	864	74	0	944
評価項目 「平成 29 年度の実績を踏まえた進捗状況」	144	794	6	0	944

9. 各国立大学法人の特筆すべき取組の事例について

教育・研究，産学官連携等に関して，基準値，年度ごとの目標値及び最終年度の目標値等に照らし，実績値が著しく進捗しているなどの評価指標（KPI）として選定された事例は以下のとおりです。

教育・研究面

東京外国語大学

戦略名：「日本発信力を備えた多言語グローバル人材の養成」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H29 の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元 年度	R2 年度	R3 年度	
TOEIC900 点相 当達成割合	H27 年度	目標値 (単 位：%)	14.2	15.9	17.5	19.2	20.8	22.5
	12.6	実績値 (単 位：%)	14.8	16.0				
	127.0%	達成状況 (率)	104.2%	100.6%				71.1%

一橋大学

戦略名：「社会科学高等研究院を中核とする世界最先端の研究の推進」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H29の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
		科研費採択率 の高水準維持 (全国1位)	H27年度 末	目標値 (単位： 位)	全国 1位	全国 1位	全国 1位	全国 1位
	全国1位	実績値 (単位： 位)	全国 1位	全国 1位				
	100.0%	達成状況 (率)	100.0%	100.0%				100.0%

大阪大学

戦略名：「Open Education 専門知と社会の「新たな統合」による教養・国際性・デザイン力を備えたイノベーション人材の育成」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H29の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
		社会人を対象と した教育プログラムの履修者数	第2期中期 目標期間全 体	目標値 (単位： 人)	95	108	122	135
	81	実績値 (単位： 人)	111	124				
	153.1%	達成状況 (率)	116.8%	114.8%				76.5%

地方連携等

京都工芸繊維大学

戦略名：「「地域」から「世界」を見据えた人材育成機能強化」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H29の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
地域インターソップ [®] の参加状況	H27年度	目標値 (単位： 人)	30	50	100	200	290	350
	29	実績値 (単位： 人)	67	379				
	1306.9%	達成状況 (率)	223.3%	758.0%				108.3%

鹿児島大学

戦略名：「南九州固有の地域的課題研究及び強み特色のある国際水準の卓越した研究の推進」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H29の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
南九州・南西 諸島域を対象 とした共同研究・受託研究 の実施件数	第2期平均	目標値 (単位： 件)	78	78	98	117	137	156
	78	実績値 (単位： 件)	123	142				
	182.1%	達成状況 (率)	157.7%	182.1%				91.0%

グローバル化

東北大学

戦略名：「国際競争力を強化するとともに、世界的に魅力的なトップレベルの教育研究を行う」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H27の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
		第3期中期目標期間中に 通年で外国人留学生を 3,000人に拡大する	H26年度末	目標値 (単位：人)	2,300	2,500	2,700	2,800
	2,177	実績値 (単位：人)	3,208	3,271				
	150.3%	達成状況 (率)	139.5%	130.8%				109.0%

電気通信大学

戦略名：「情報通信領域を先導する特色ある教育研究の戦略的推進」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H29の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
		専任教員に占める外国人教 員の割合	H27年度末	目標値 (単位：%)	7.2	7.7	8.3	8.9
	6.6	実績値 (単位：%)	7.2	7.8				
	118.2%	達成 状況 (率)	100.0%	101.3%				78.0%

産学官連携の推進等による民間投資拡大

【特許関連収入】

京都大学

戦略名：「グローバル化に対応した産官学連携及び最先端で質の高い医療の開発・提供等による社会貢献事業の推進」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H29の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
知的財産収入 額の増加状況 【特許】	第2期平均	目標値 (単位：千 円)	283,395	305,195	389,430	413,770	438,110	462,450
	261,595	実績値 (単位：千 円)	460,036	640,395				
	244.8%	達成状況 (率)	162.3%	209.8%				138.5%
【マテリアル】	第2期平均	目標値 (単位：千 円)	29,417	31,680	33,943	36,206	38,469	40,730
	27,154	実績値 (単位：千 円)	83,467	63,501				
	233.9%	達成状況 (率)	283.7%	200.4%				155.9%

岡山大学

戦略名：「異分野融合科学の拠点形成 - 研究・社会実装 - 」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H29の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
特許価値(全 国における順 位)	H26年度 末	目標値 (単位：位)	3位 以内	3位 以内	3位 以内	3位 以内	3位 以内	3位 以内
	第1位	実績値 (単位：位)	第1位	第1位				
	100%	達成状況 (率)	100%	100%				100%

【共同研究・受託事業費受入等】

徳島大学

戦略名：「各種ファンドの設置，大学発ベンチャー企業の設立支援・育成支援による外部資金の戦略的獲得」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H29の伸び 率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
大学発ベンチャー企業の起業数	第2期中 期目標期 間	目標値 (単位：社)	1	2	4	6	8	10
	6	実績値 (単位：社)	6	8				
	133.3%	達成状況 (率)	600.0%	400.0%				80.0%

九州工業大学

戦略名：「社会のイノベーションに貢献する工学分野の研究拠点形成と産業界への貢献」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H29の伸び 率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
共同研究の教員 1人当たり受入 額の増加状況	第2期中 期目標期 間の平均	目標値 (単位： 千円)	900	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400
	855	実績値 (単位： 千円)	1,449	1,509				
	176.5%	達成状況 (率)	161.0%	150.9%				107.8%

マネジメント改革

帯広畜産大学

戦略名：「国際貢献機能を強化するため、国際機関、国際協力機関等と連携した教育研究事業による海外展開、海外拠点整備を推進する。」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H29の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
		全教員に年俸制を適用する。	H26年度末	目標値 (単位：%)	79.0	80.2	81.5	100
	77.7	実績値 (単位：%)	98.4	99.2				
	102.4%	達成状況 (率)	124.6%	123.7%				99.2%

名古屋大学

戦略名：「ビジョン実現のために自律的マネジメント改革・大学間連携・男女共同参画の推進により組織基盤を強化」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H29の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
		女性教員の全教員に対する割合の増加状況	H26年度末時点	目標値 (単位：%)	16.3	16.9	17.7	18.5
	16.1	実績値 (単位：%)	17.3	17.4				
	108.1%	達成状況 (率)	106.1%	103.0%				87.0%

10. 評価結果の予算案への反映について

評価指標（KPI）の評価結果に基づき、当該大学の評価対象経費を基礎として、評価項目 における各評価指標（KPI）の評価結果について、以下の得点換算表に基づき得点化し、戦略毎の平均点を算出して、各戦略の平均点を合算した数値を戦略数で除し、法人の平均点を算出します。各法人の平均点と以下の配分表に基づき配分率を決定し、評価対象経費に配分率を乗じることによって配分額を算出しています。

なお、メリハリある再配分を実施する観点から、令和元年度予算における運営費交付金の重点支援に係る評価の対象経費については、「機能強化促進係数」により各大学から拠出された金額を含む約 300 億円を評価対象経費としました。

注 1 評価項目（評価指標の精選）の評価結果については予算への反映は行いません。

（得点換算表）

評点	得点
a	10
b	6
c	2
d	0

（配分表）

配分率	重点支援 (55大学)	重点支援 (15大学)	重点支援 (16大学)
105%	5大学	1大学	1大学
102.5%	11大学	3大学	3大学
100%	12大学	4大学	5大学
97.5%	11大学	3大学	3大学
95%	16大学	4大学	4大学

（大学の得点計算のイメージ）

A大学		評価項目	得点換算	戦略平均	A大学平均
戦略1	指標	a	10	6	4.5
	指標	c	2		
戦略2	指標	d	0	3	
	指標	b	6		